

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

トビイロウンカの飛来状況及び防除対策（技術情報第6号）について

このことについて、平成19年6月27日付け病防第48号（技術情報第3号）でトビイロウンカ及びセジロウンカの飛来状況について通知したところですが、その後のトビイロウンカの飛来状況及び防除対策について下記のとおり取りまとめましたので業務の参考にご活用下さい。

記

1 飛来状況

生産環境研究所（合志市）の予察灯では、6月24日に初飛来（4頭）を確認した後、6月30日（4頭）、7月2～11日（149頭、うち7月2日：68頭）、7月17～22日（23頭、うち7月17日：12頭）にまとまった飛来が認められた（表1）。

天草農業研究所（天草市）の予察灯では、6月25日、7月3・4日に飛来が見られたが、飛来量は1～2頭と少なかった（表1）。

6～7月における半旬ごとの誘殺数（予察灯）では、生産環境研究所では平年並、天草農業研究所では平年より少なかった（表2）。

2 有効積算温度による次世代予測

飛来時期から予測される第二世代幼虫ふ化期は次のとおり（図）。

6月24日飛来：8月8日頃

6月30日飛来：8月14日頃

7月2～11日飛来：8月16～23日頃

7月17～22日飛来：8月29日～9月3日頃

7月30日現在、アメダス（熊本市）を使用。

3 防除対策及び防除上注意すべき事項

（1）トビイロウンカは低密度に見えても増殖率が高く、秋には高密度となり坪枯れを引きおこす。

（2）ほ場における発生状況は、飛来時期の外に移植時期や使用した薬剤、水稻の生育状況等で異なる。

防除にあたっては次世代予測を参考に、ほ場の発生状況をよく確認した上で行う。

（3）防除適期は幼虫のふ化揃い期である。7月下旬～8月上旬：0.2頭/株、8月中～下旬：1頭/株の要防除水準を目安に防除する。

（4）トビイロウンカは水稻の株元近くに生息する。粉剤及び液剤で防除する場合は、株元に付着するように散布する。

(表1) トビイロウンカの飛来状況

調査日	ネットトラップ		予察灯(60W 白熱灯)	
	天草市	合志市	天草市	合志市
6/21		0	0	0
6/22	0	2	0	0
6/23			0	0
6/24			0	4
6/25	0	0	2	1
6/26		0	0	1
6/27	0	0	0	0
6/28		0	0	0
6/29	0	0	0	1
6/30			0	4
7/1	0		0	0
7/2		0	0	68
7/3		0	1	10
7/4		1	2	10
7/5	欠測	0	0	8
7/6		0		6
7/7			欠測	11
7/8				4
7/9	0	0	0	4
7/10		0	0	17
7/11	0	0	0	11
7/12		0	0	0
7/13		0	0	0
7/14	欠測	0	0	2
7/15			0	1
7/16	0		0	0
7/17			0	12
7/18	0	0	0	5
7/19		0	0	1
7/20	0	0	0	1
7/21			0	2
7/22			0	2
7/23		0	0	0
7/24		0	0	1
7/25		0		0
7/26				
7/27				
7/28				
7/29				
7/30				
7/31				

(表2) 6~7月における半旬ごとの誘殺数(予察灯)

1 生産環境研究所(合志市)

2 天草農業研究所(天草市)

半旬/ 年	1 生産環境研究所(合志市)							2 天草農業研究所(天草市)						
	H14	H15	H16	H17	H18	平年値 (H14~H18)	H19	H14	H15	H16	H17	H18	平年値 (H14~H18)	H19
6.1	0	0	0	0	1	0.2	0	6.1	0	0	0	0	0.0	0
2	0	0	0	0	0	0.0	0	2	0	0	0	0	0.0	0
3	0	0	0	0	2	0.4	0	3	0	0	0	4	0.8	0
4	0	0	2	0	1	0.6	0	4	0	0	0	8	1.6	0
5	1	2	1	0	1	1.0	5	5	0	0	0	0	0.0	2
6	2	0	9	4	12	5.4	6	6	1	0	0	14	3.0	0
7.1	3	2	1	3	147	31.2	96	7.1	0	0	0	94	18.8	3
2	3	2	8	7	30	10.0	42	2	0	0	4	25	16.0	0
3	9	77	0	301	0	77.4	14	3	0	0	0	30	16	9.2
4	4	4	6	18	0	6.4	19	4	2	0	0	1	8	2.2
5	7	1	15	22	11	11.2	(5)	5	0	0	1	0	15	3.2
6	6	3	1	8	0	3.6		6	0	0	0	2	57	11.8

網掛けは主飛来を含む誘殺

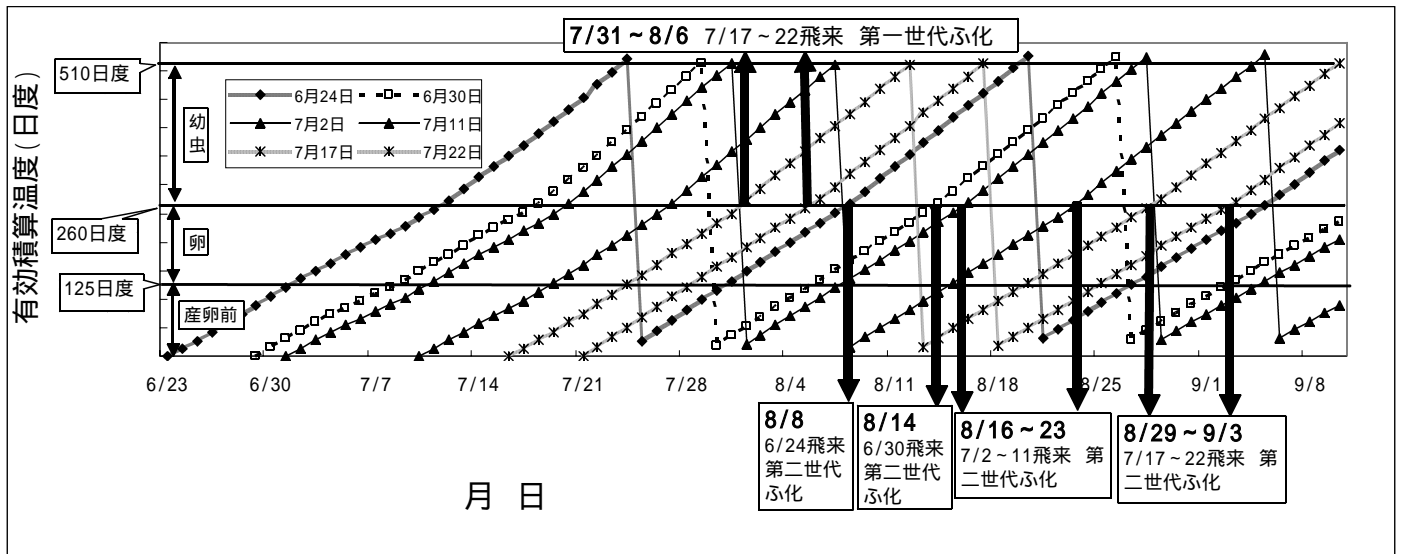


図 有効積算温度による次世代予測